

議事３号 令和元年度の協議会の取組方針及び重点事業（案）について

1 取組方針

「神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画」の目標・理念及び基本方針に基づき、地域住民、地元企業、沿線自治体及び交通事業者等の各関係者が主体となり、積極的な公共交通の維持・活性化に継続して取り組む。

また、計画において本年度から取り組むこととしている「鉄道とバスの乗継割引乗車券の検討」「駅の空きスペースや駅前空間の活用」及び「転入者に対するモビリティ・マネジメントの実施」にも着手する。

なお、本年度は計画対象期間（平成２９年度～令和３年度）の中間年度に当たることから、PDCAサイクルに従い中間評価を実施することにより、事業の効果検証や今後の取組改善を図る。

2 重点事業

(1) 基本方針１ 鉄道を軸とした地域公共交通網の維持・形成

ア 鉄道とバスの広域時刻表の作成 **継続**

平成２９年度及び平成３０年度に国庫補助金を活用して作成した鉄道とバスの広域時刻表について、引き続き、単独事業として作成することにより、接続情報の発信及び乗継ぎの利便性の向上を図る（作成時期（予定）：令和元年１０月）。

イ 車両更新等への側面的な支援 **継続**

国庫補助金を活用し、県及び沿線市が協調して支援する車両更新等について、協議会においても対外的な周知や国要望の実施等により側面的に支援する（車両更新編成数（予定）：１編成）。

ウ 駅的美装化の実施 **継続**

駅的美装化を継続して実施し、粟生線利用者の快適性の向上を図る。

(2) 基本方針２ まちづくりと連携した地域公共交通網の形成

鈴蘭台駅前再開発工事の推進 **継続**

神戸市北区の玄関口にふさわしいにぎわいづくりを図るため、粟生線の起点駅である鈴蘭台駅前の再開発工事を推進し、駅ビル及び橋上駅舎の建設に引き続き、駅前広場の完成を目指す（完成予定：令和元年度末）。

(3) 基本方針３ 地域公共交通の活性化及び利用促進

ア 粟生線スタンプラリーの実施 **継続**

平成３０年度に「鉄道開業９０周年記念事業」として実施した粟生線スタンプラリーが好評であったことから、本年度においても同事業を実施することにより、粟生線の更なる利用を促進する。

イ モビリティ・マネジメントの推進 **継続**

地域住民や地元企業等に対しモビリティ・マネジメントを積極的に推進することにより、公共交通利用の意識を高めるとともに、公共交通の活性化及び利用促進を図る。